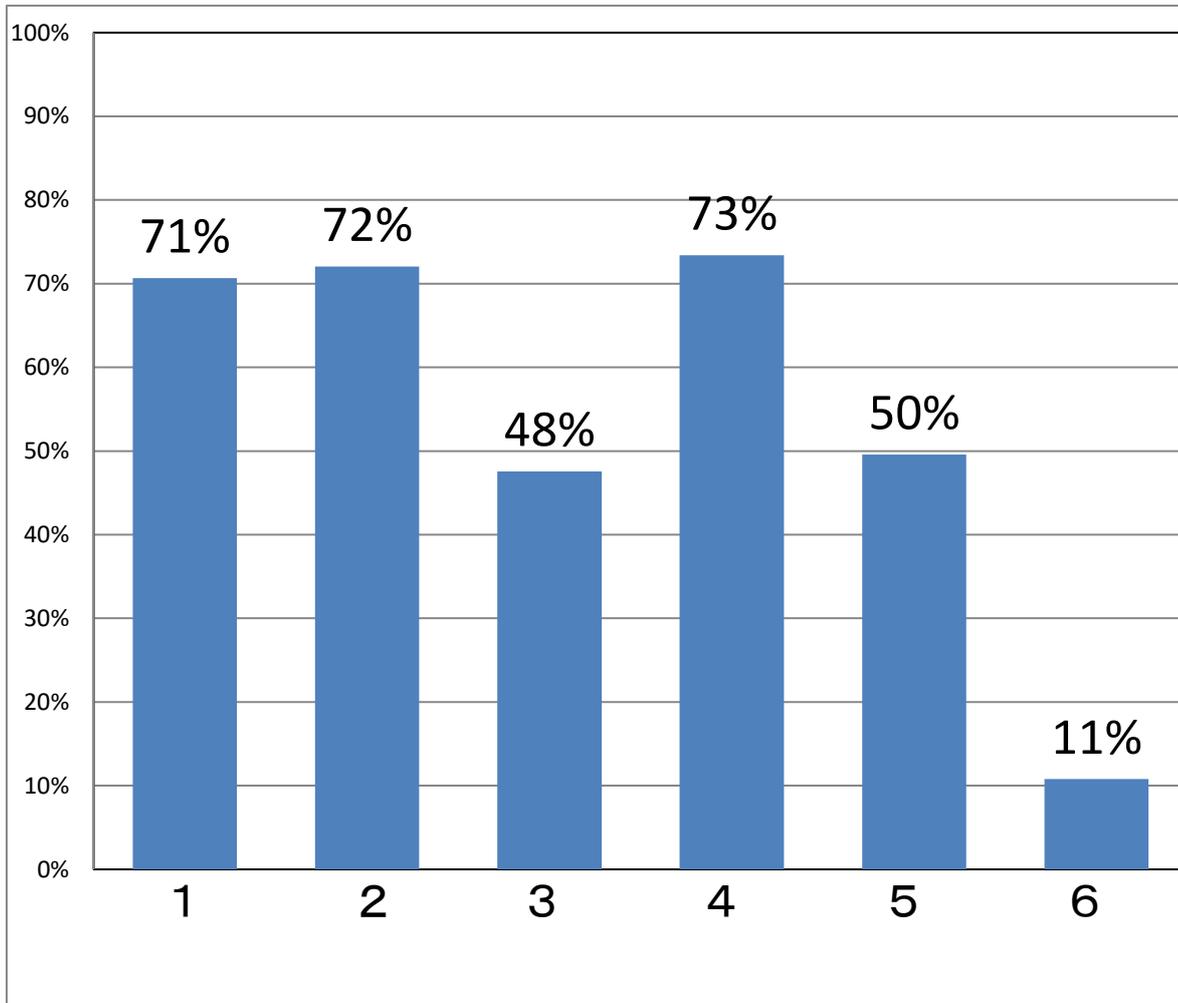


令和3年度那覇市小中学校 オンライン学習 保護者アンケート【結果詳細】 保護者1
 令和3年10月13日時点

オンライン学習実施期間 : 令和3年8月30日(月)~9月17日(金)
 アンケート調査回答期間 : 令和3年9月22日(水)~10月1日(金)

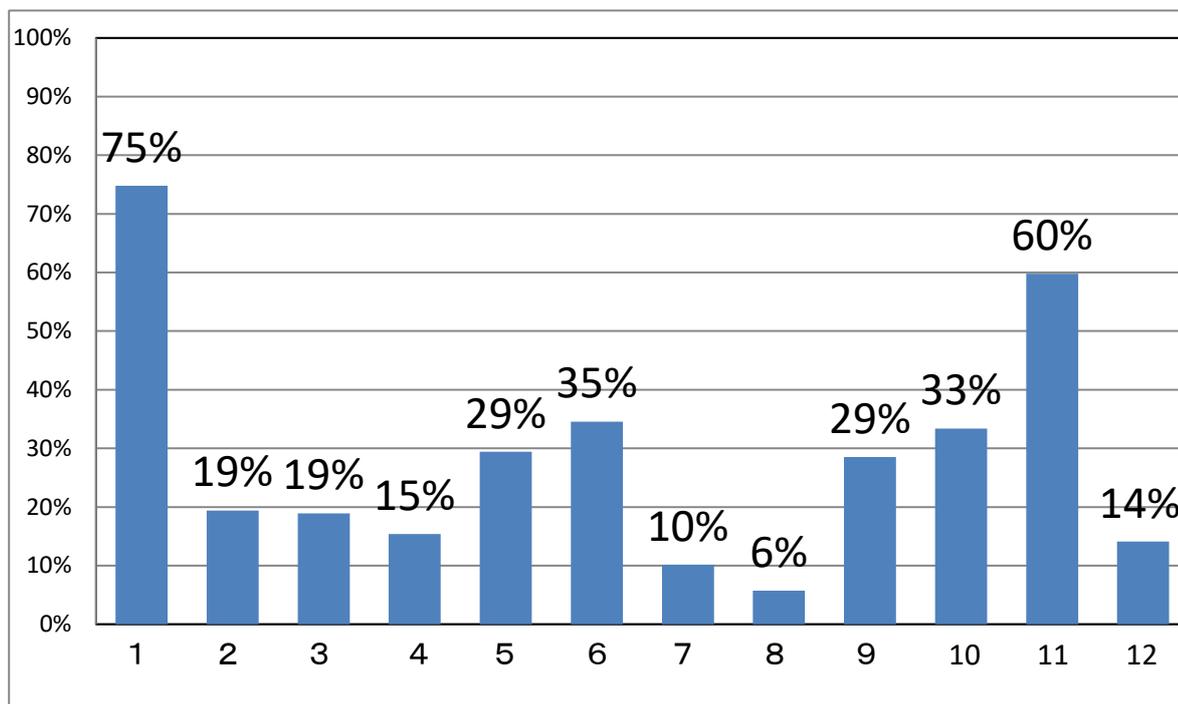
調査対象 : 那覇市内小中学校 保護者(8017世帯)

1. お子さんは、今回のオンライン学習でどのようなことを行いましたか。(複数回答可)



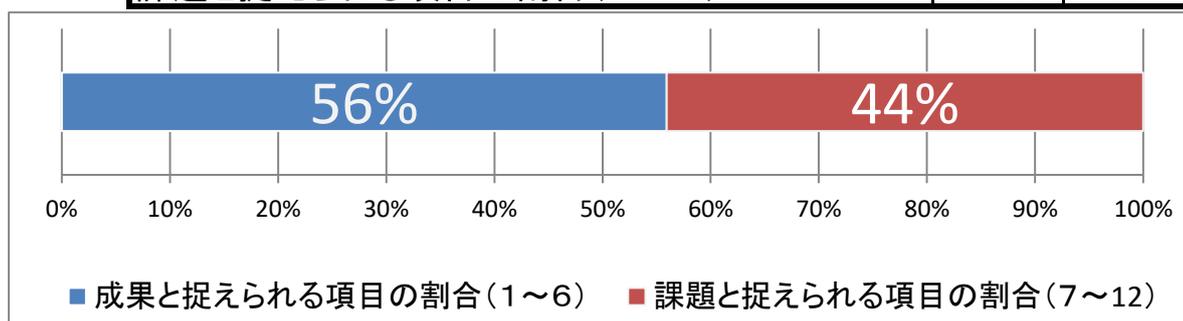
質問項目	回答数	割合
1. Meetで健康観察を行っていた	5666	71%
2. Meetでオンライン授業を行っていた	5777	72%
3. 動画教材(オンデマンド)で学習を行っていた	3814	48%
4. Classroomから配布された課題等で学習を行っていた	5885	73%
5. タブレットドリル(AI型ドリル教材)で学習を行っていた	3975	50%
6. Meetで友だちと学び合いをしていた	864	11%
合計(左:回答数、右:世帯数)	25981	8017

2. 今回のオンライン学習の成果と課題について特にそう思うことを3つ教えてください。
(1世帯につき、3つを選択)



質問項目	回答数	割合
1. オンラインで子ども同士が会うことができた	5995	75%
2. 子どもが先生に質問がしやすかった	1554	19%
3. 友だちと学び合うことができた	1515	19%
4. 集中して学習に取り組むことができた	1232	15%
5. 自分のペースで学習を進めることができた	2358	29%
6. 生活リズムが乱れなかった	2771	35%
7. 課題が多くて、子どもが大変だった	814	10%
8. 子どもはMeetで長時間授業を受けることに疲れていた	461	6%
9. 子どもが先生に質問しにくかった	2287	29%
10. オンライン授業の機会が少なかった	2674	33%
11. オンラインで通信が繋がらないことがあった	4792	60%
12. 子どもがタブレットの操作することが難しかった	1130	14%
総計(左:総回答数、右:回答世帯数)	27583	8017

成果と捉えられる項目の割合(1~6)	15425	56%
課題と捉えられる項目の割合(7~12)	12158	44%



3. 上記2以外で成果と感じたことがあればお書きください。

(3) 主な記述内容: 成果

- ① コロナ禍において、子どもの感染拡大予防と学びを止めない取組をすることができた。
- ② 今後、学校と家庭をつなぐツールとしての期待ができる。
- ③ 子どものパソコン操作の向上を見ることができた。

(保護者の声)

・家に居ながら子どもが、先生やクラスのお友達とオンラインで授業が出来たので、とても楽しそうだった。感染リスクも無くて安心でした。

・感染の不安が子供自身にもあったため、怖がって登校せず自宅に安心していられて良かった。

・保護者として、コロナ禍で授業参観も無いので、子供たちの授業の様子が見られて良かったです。

・昨年度から授業参観や運動会が中止となり学校での様子が分からなかったが、オンライン授業で学校生活の雰囲気を感じることが出来て安心しました。

・対面学習にこしたことはないが、子どもがこれからの社会でパソコンに慣れていく事や苦手意識がでないためには良いかなと思う。

・うまくいかない事も多かったと思いますが、これからのコロナ禍第6波等を考えるとオンライン学習を開始した意
味は大きいと思います。

・PC の操作がスムーズになりました。電源の入れ方、マイク OFF、保存の仕方、タイピングなど社会に出た時に必要になってくるものが身についたように感じます。

・子どもが PC を触れ合う事で、ローマ字入力をしないといけなく、少なからずタイピングが上手になったと思います。

・感染を恐れながら登校するより、家で安心して学習ができることの大切さを実感した。

4. 上記2以外で課題と感じたことがあればお書きください。

(3)主な記述内容:課題

- ①保護者の仕事の関係で子どもへの支援が難しかった。
- ②子どもが学習できていたか心配である。
- ③子ども同士のやりとり(チャット等)やオンライン授業への姿勢が気になる。
- ④家庭では集中力が続かない。(他のことをしてしまう等)
- ⑤機器の破損がないか心配である。
- ⑥学童へ通っている子どもへの支援。

(保護者の声)

- ・PC 入力が出来ない低学年は、親同伴でないと無理があると思いました。
- ・低学年は、親のサポートがないと難しく、共働きで困った。
- ・オンライン授業で、子供の側に付きっきりで保護者の負担が大きい。
- ・親が仕事などで不在となり子供だけの場合、操作に手間取ったり、集中力が下がる。
- ・親が共働きのため、オンライン授業を確認できなく、普段慣れないことで大変だった。
- ・オンライン授業では、先生が話している時でもマイクをオンにして話す子どもたちがおり、授業がうまく進んでいかなかった。再度、子どもたちにオンライン授業のマナーを理解させる必要性を感じた。
- ・子どもは、家庭では気が散って集中力が散漫していました。
- ・オンライン授業を家庭でやると、目移りするのが多く集中出来にくい。
- ・タブレットを壊したりするので、補償や保険とか、故障時の弁償代とか先に教えて欲しい。
- ・学童に預けていたので、オンライン授業、朝の会に参加できなかった。

5. その他、オンライン学習を実施する上でお気づきの点等がございましたらお書きください。

(3)主な記述内容:その他

- ①今後のオンライン学習への期待・要望
- ②授業の工夫(オンライン授業の質の向上、子ども同士の学び合い等)
- ③家庭環境(共働き世帯、低学年児童、兄弟等)
- ④日常でのタブレット操作指導

(保護者の声)

- ・子どもが解熱後に登校出来なかったり、何らかの事情で登校出来ない児童にとってオンライン学習はとても有効だと思った。緊急事態宣言が終わった後も、PC やタブレットを活用した授業を続けて欲しい。
- ・台風の時など予測がつく時は、オンライン授業をするなど対応してほしいと感じた。
- ・小学生の子はオンライン授業をととても気に入っていたが、中学生の子は登校して授業を受けたほうが集中できる、と言っていた。子どもによって集中できる環境が違うので、今後どちらかを選べるようになってほしいなと思った。ぜひ前向きに検討していただき、導入される事を願います。
- ・状況は違っていますが、不登校になっている子に対しても、オンラインを通して授業や教材などを活用ができて、広がりを持たせてあげたいと思いました。
- ・オンデマンドでの授業は、工夫すればいろいろ課題が出せて、確認もできるので、先生方にはアイデアを出し合って教材作成してもらいたい。
- ・共働きの親は、子供の側についてあげられないので不具合や操作方法の手助けが出来ないこと。
- ・オンライン学習である程度学びの保障ができるが、保護者が自宅にいる前提でないとオンライン授業は難しい。両親のどちらかが、家庭に必ずいることがセットでなければ取組は難しいと思う。
- ・学童に預けていたのでほとんどオンライン授業が出来なかった。学童でもタブレット学習出来る様にしてほしかった。
- ・兄弟が多いと親がサポートすることが大変です。また、兄弟が隣同士で授業を受けるので、互いの授業の音声が混ざり、子どもが授業をやり辛そうでした。
- ・学校でも日頃からタブレットを使って学習したり、週末の家庭での使用などを習慣づけたいと感じた。